

「 岐阜県発日本一、世界一 ～ 11月～ 」

スポーツ健康課 スポーツ振興担当

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第28回全日本学生ホッケー選手権大会 女子	第3位	H18.11.1	東海女子大学		準決勝で、山梨学院大学に延長の末2 - 1で惜敗した東海女子大は3位決定戦にまわった。3位決定戦では、宿敵天理大学を相手に、前半に1点の先行を許したが、後半に3点を挙げて逆転し3位となった。 (山梨県甲府市：山梨学院ホッケースタジアム)
第57回全日本学生パドミントン選手権大会 女子シングルス	第3位	H18.11.2	脇田 侑 (筑波大学)	県岐阜商高卒	好調の脇田は、準々決勝までの4試合をすべて2 - 0のストレートで勝ちあがったが、準決勝で伊東(日本体育大)に1 - 2で惜敗して3位にとどまった。(京都府：京都市体育館)
第35回全国都道府県対抗選手権大会 ボウリング 男子個人	優勝	H18.11.5	高橋 俊彦 (ACランド)		18ゲームで競う男子個人戦で、高橋は3,787点を挙げ、2位の沖村(山梨)に63点差で、先月開催された「のじぎく兵庫国体」に続き、全国大会で連勝した。 (秋田県横手市：台由ボウル)
男女混合4人チーム戦	優勝	H18.11.5	星野 真由美 吉村 直人 星野 恵梨 高橋 俊彦		4人が6ゲームずつを行って競うルールで実施された。男子個人優勝の高橋と、吉村は「のじぎく兵庫国体」本県代表選手であり、チームを牽引して、トータル4,773点を挙げ、見事優勝を果たした。(秋田県横手市：台由ボウル)
内閣総理大臣杯 (都道府県対抗部門)	優勝	H18.11.5	岐阜県		混合2人チーム戦、混合4チーム戦、男女個人の各部門の総合成績で競う都道府県対抗戦において、本県は優勝2種目で20点を獲得し、団体総合初優勝を飾った。 (秋田県横手市：台由ボウル)

大会、競技会名 (主催者名)	成 績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
2006東京国際女子マラソン大会 (第28回)	第3位	H18.11.19	高橋 尚子 (ファイテン)	県岐阜商高卒	雨中のレースとなった。スタートから土佐礼子(三井住友海上)がハイペースでとばし、高橋が追走する展開となったが、30kmすぎに高橋が遅れ、そのまま土佐が逃げ切って優勝した。高橋は39kmすぎに尾崎(資生堂)にもかわされ、2時間31分22秒のタイムで3位でゴールした。 (東京都:国立競技場~大森海岸交番前折り返し)
平成18年度後期日本卓球リーグ (千葉大会)	第2位	H18.11.23	十六銀行卓球部 田勢 美貴江 西飯 由香 潮崎、由香 河村 安紀		準決勝でサンリツに3-2で競り勝って決勝に進んだ。決勝は日本生命との対戦。第1、第2試合のシングルスで、田勢、西飯が連敗して苦境に立たされたが、第3試合のダブルスで田勢、潮崎が勝ち、第4試合で潮崎が勝って2-2のタイに持ち込んだ。第5試合の河村が敗れて惜敗し、準優勝となり、4期ぶりのリーグ制覇はならなかった。 (千葉県:千葉市 千葉ポートアリーナ)
2006全日本学生フェンシング選手権大会 第56回全日本学生個人選手権大会 男子個人 エペ	優 勝	H18.11.24	伊藤 祐樹 (朝日大)		準決勝で、笠原崇弘(日本体育大)を逆転で下した伊藤は、決勝でも田中育一(専修大)に5点のリードを許したが、粘り強く戦って15-13で競り勝ち2連覇を果たした。 (京都府:大山崎町体育館)
第46回全日本大学対抗選手権大会 女子団体 サークル	第2位	H18.11.26	朝日大 青柳裕子 竹内愛子 巻口菜穂 田中亚弥 廣瀬恵理加		最終ゲームまでもつれる接戦で、準決勝の中京大戦を制した朝日大チームは、決勝では日本体育大に1-3のスコアで敗れて2位となった。 (京都府:大山崎町体育館)